



7月2日（水）16：30～18：00 標記行動が憲法共同センター主催でおこなわれのべ59名が参加、長崎民医連からも介護事業部1名、ヘルパーST1名、友の会1名、県連4名の計7名が参加しました。各団体がそれぞれの立場からリレー形式でマイク宣伝を行いましたのでその内容を発言順に紹介します。（県連 新木）

新婦人：子どもたちに平和な未来を残したい。アメリカ、イランは右手でガザ左手でイランを攻撃している。日本はこのままトランプの言いなりでいいのか。

立憲主義を取り戻す諫早の会：2015年の戦争法以降日本は加速度的に軍拡が進んでいる。安保3文書の閣議決定による軍事費の増大然り、学術会議解体法の強行もそうだ。

年金者組合：マクロ経済スライドの温存、遺族年金のカット、そして本当に必要な年金の改革は先送りされた。

民医連（小川所長）：依頼を受けてもヘルパーが足りず断らざる得ない状況もある。市内で複数の事業所が閉鎖に追い込まれている。介護報酬を増やして欲しい。このままでは介護難民が増える。

民医連（川尻事務局長）：私が就職してから窓口負担は増え続けている。子どもたちがなりたい職業として医療従事者が選ばれるような社会にしたい。政治は変えられる。

原水協：日本はこれまでアメリカの軍事行動に対し一度も抗議できたことがない。

国民救援会：冤罪事件において検察が証拠を握り潰すというあり得ないことが起こっている。

ララコープ労組：時給1500円を求めるアピールをしていきたい。

ながさき平和委員会：アメリカから軍事費GDP比3.5%を要求されている。今度の参院選軍事費こそ争点だ。

高教組：うちの子は朝ドラは戦争のシーンが出てくるので見たくないと言う。

民商：三菱重工が日本政府からの軍事契約額2年連続の1位で1.4兆円。その三菱株を石破首相は多数保有。

原発ゼロ連絡会：原発は原爆だ。コストは太陽光の方が安い。再生可能エネルギーへ向かわねばならない。

